

肺の手術を受けられる方へ（入院診療計画書）

病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

入院期間については、現時点で予測されるものです。

入院当日は午前11時に受け付け①で入院受付をされてから、入院される病棟のデイルームでお待ちください。

入院の際はこの用紙を持参して下さい。ご不明な点は遠慮なくスタッフにお尋ねください。

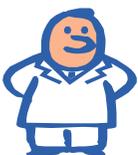
主治医 _____

患者氏名 _____ 様

看護師 _____

家族等氏名 _____ 様

（（続柄））

	外来	入院	手術当日、手術前	手術後
目標	治療について、心配なことや不明な点を、主治医や看護師に伝えられること。治療についてご本人もご家族も理解できること。		発熱がなく、手術にむかうことができること。	痛みや不快を主治医や看護師に伝えることができる。傷口からの出血がおこらない。
治療・処置	お薬を飲んでいる方は他院の薬も含めてすべて持参してください。その際、お薬手帳があれば一緒にお持ちください。また、  抗血小板薬を飲んでいる方は、お話をください。	手術前日に手術部位の確認をし、その周囲を剃毛します。	麻酔科の指示により必要なお薬を飲んでいただくことがあります。  血栓予防のためのストッキングをはいていただきます。	点滴、酸素吸入をします。  痛いときは痛み止めをします。 ドレーン（胸に溜まった血液などを外に出す管）が入ってきます。 背中に痛みどめの細い管が入ってきます。 心電図モニターがつきます。 
検査	手術に必要な血液検査・心電図・胸部X線写真呼吸機能等の検査があります。 			
食事		手術前日午後9時以降は何も食べられません。お茶・水・ｽｰｯﾄﾞﾘｯｸは、翌朝まで飲んでかまいません。	食事は食べられませんが、決められた時間までは、お茶・水・ｽｰｯﾄﾞﾘｯｸは飲んでかまいません。	飲んだり、食べたり出来ません。 
清潔		手術前日は必ず入浴していただきます。 	お化粧はしないでください。手術前に歯磨きをしてください。 	麻酔が覚めたら、うがいが出来ます。看護師が洗面をお手伝いします。
排泄			手術前にトイレを済ませておいてください。	手術後は尿をだす管が入ってきます。排便時は看護師の介助でベッド上で便器を使用します。
安静度		院内でお過ごしください。	病棟内でお過ごしください。	ベッド上で安静にお過ごしください。体の向きを変えることができます。
説明	医師から入院・手術についての説明があります。看護師から入院の準備について説明があります。手術用に準備していただく物は別紙を参照してください。麻酔科医師の診察があります。	主治医から手術の詳細な説明があります。入院や手術に対して心配なことがありましたら看護師にお話ください。  禁煙は必ず守ってください。	手術前までに、ご家族の方は来院してください。義歯、貴金属類、コンタクトレンズ、ヘアピン等ははずしておいてください。詳しいことは、追って説明いたします。貴重品はご家族にあずけてください。	主治医からご家族の方へ、手術結果の説明をいたします。手術の間ご家族の方はデイルームか病室で、お待ちください。 

手術後1日目 /	手術後2日目~7日目 / ~	手術後8日目~退院 /
看護師の見守りで室内や廊下の歩行ができること。 自分で痰がだせること。 傷口からの出血がおこらないこと。	手術後3日目以降、38度以上の発熱がないこと。 出血や空気もれがなく、ドレーン（胸の管）が抜けること。	痛みがやわらぐこと。
朝の血液検査の結果で酸素を中止します。 回診で痛み止めの細い管を抜きます。 痛み止めの飲み薬を1日3回定期的に内服します。 歩行後、ストッキングを脱ぎます。	ドレーン（胸の管）を抜きます。 	
血液検査をします。 胸部X線写真をとります。	手術後、3日目・7日目に胸部X線写真撮影と血液検査があります。	
診察後、水分をとることができます。 昼から全粥食が始まります。	普通食が食べられます。	
看護師の介助で体を拭きます。	ドレーンが抜けた当日からシャワーを浴びることができます。	退院後（手術後8日目）から入浴可能です。
尿をだす管を抜きます。		
看護師の付き添いのもと歩行練習を始めます。 病院内でお過ごしください。	病院内でお過ごしください。	
	退院後の生活について説明があります。 （別紙を参照）	次回の外来受診について説明があります 退院時間は午前10時の予定です。 3番の窓口でお支払いください。